

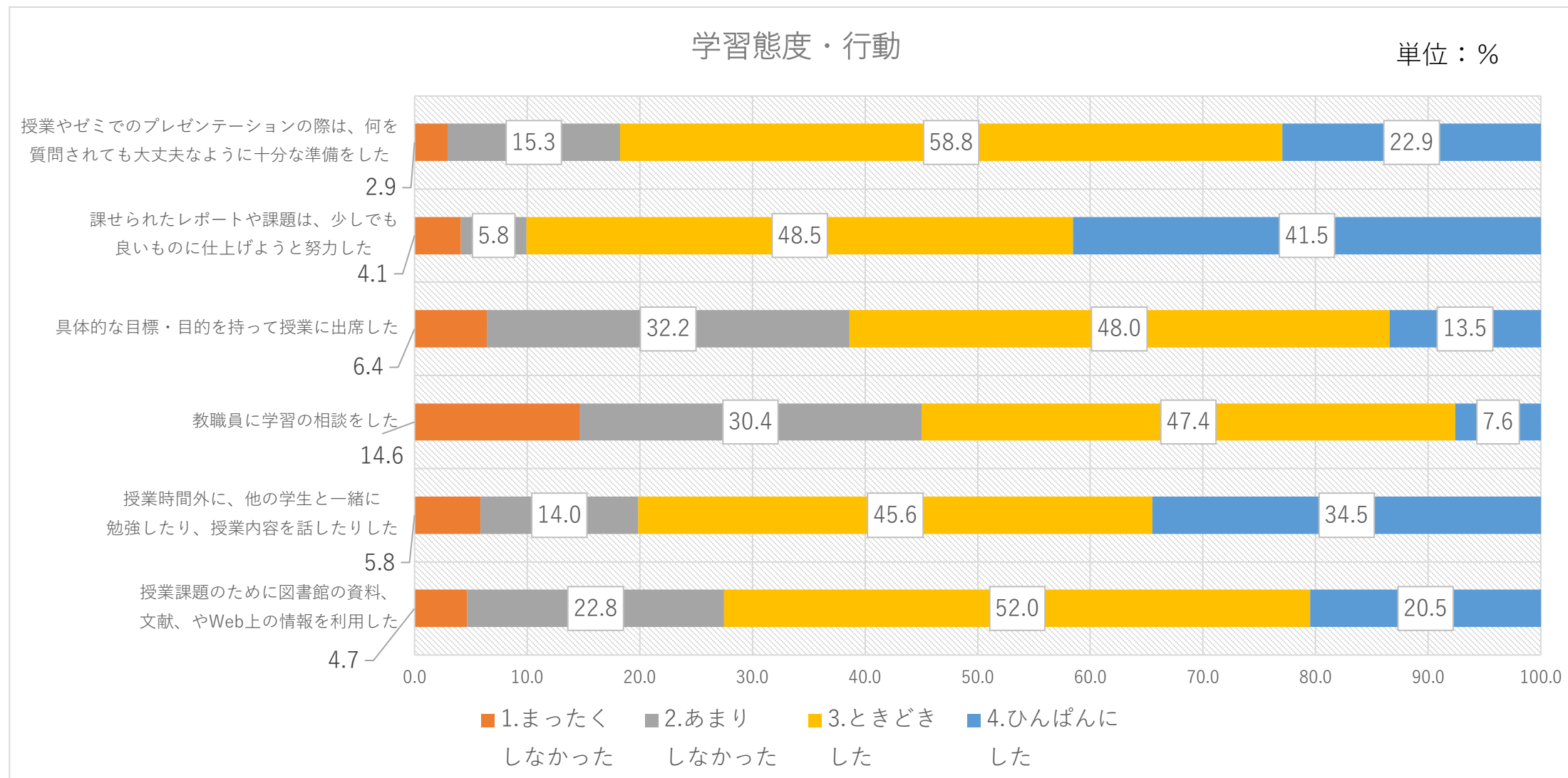
【外国語学部】 2022年度卒業時アンケート結果

アンケート実施日：2023年3月19日（日）卒業式

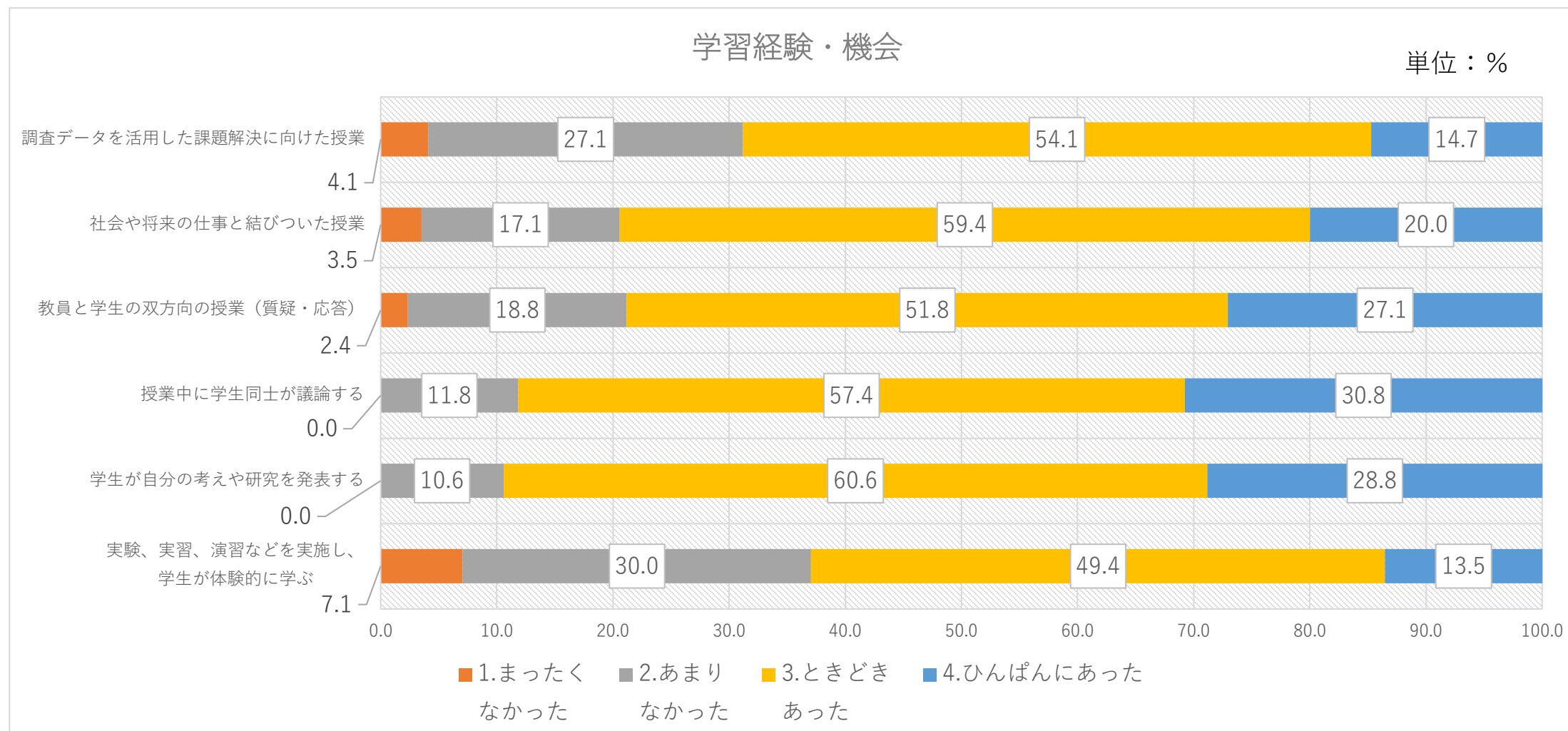
（回答数）

学科別回答数	n
外国語学部・英語学科	85
外国語学部・中国語学科	25
外国語学部・観光交流文化学科	69
合計	179

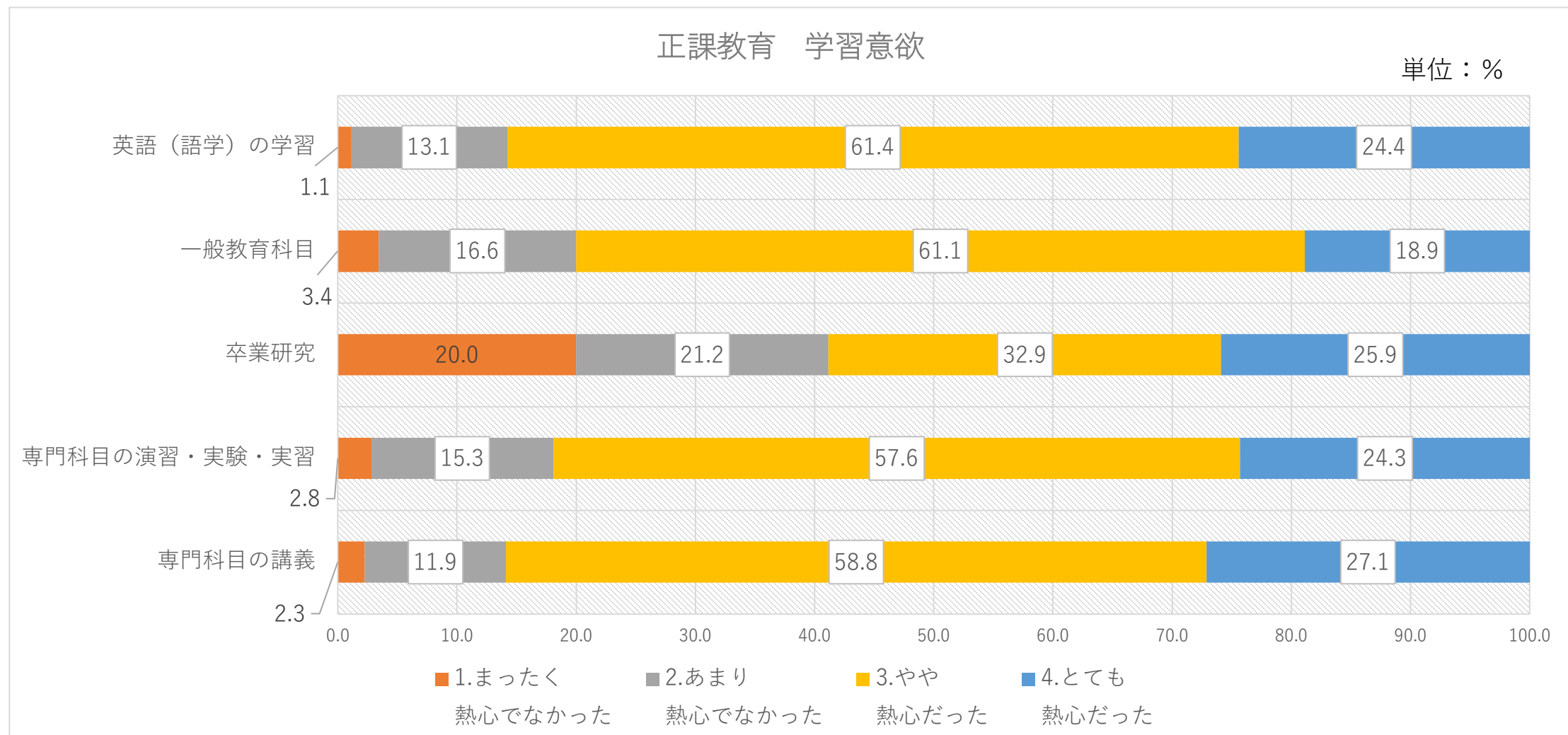
Q.あなたは大学の授業などの学習に関して、次のようなことをどのくらい経験しましたか【学習態度・行動】



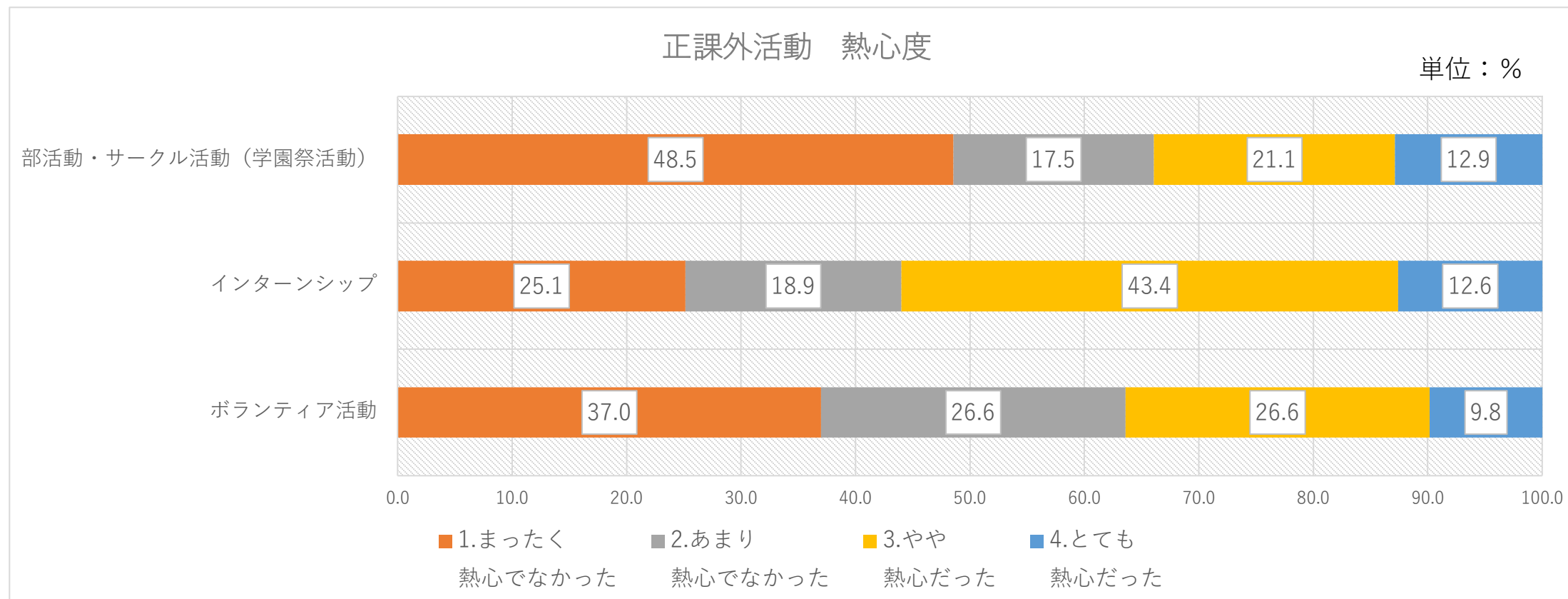
Q. あなたは大学の授業に関して、次のようなことをどのくらい経験・機会がありましたか【学習経験・機会】



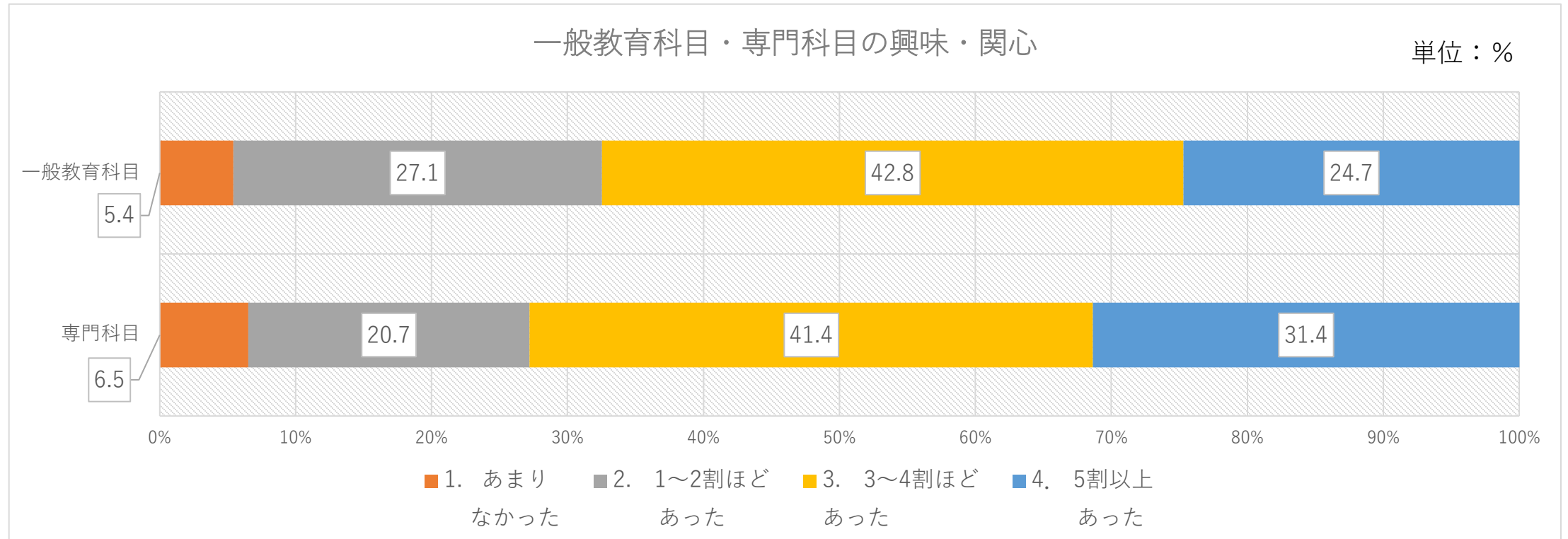
Q. あなたは在学中に、次の活動にどの程度熱心に取り組みましたか【学習意欲】



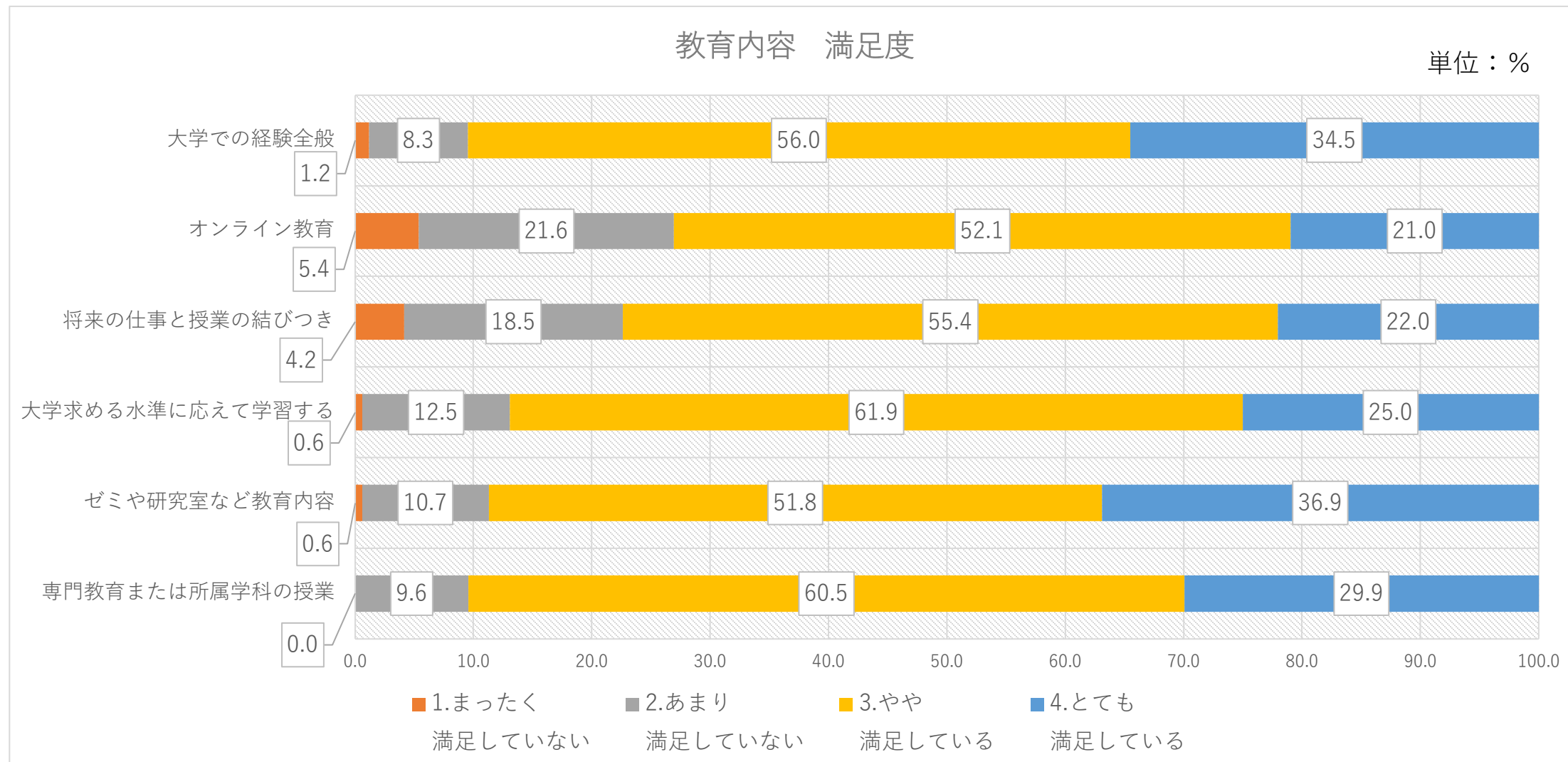
Q. あなたは在学中に、次の活動にどの程度熱心に取り組みましたか【正課外活動熱心度】



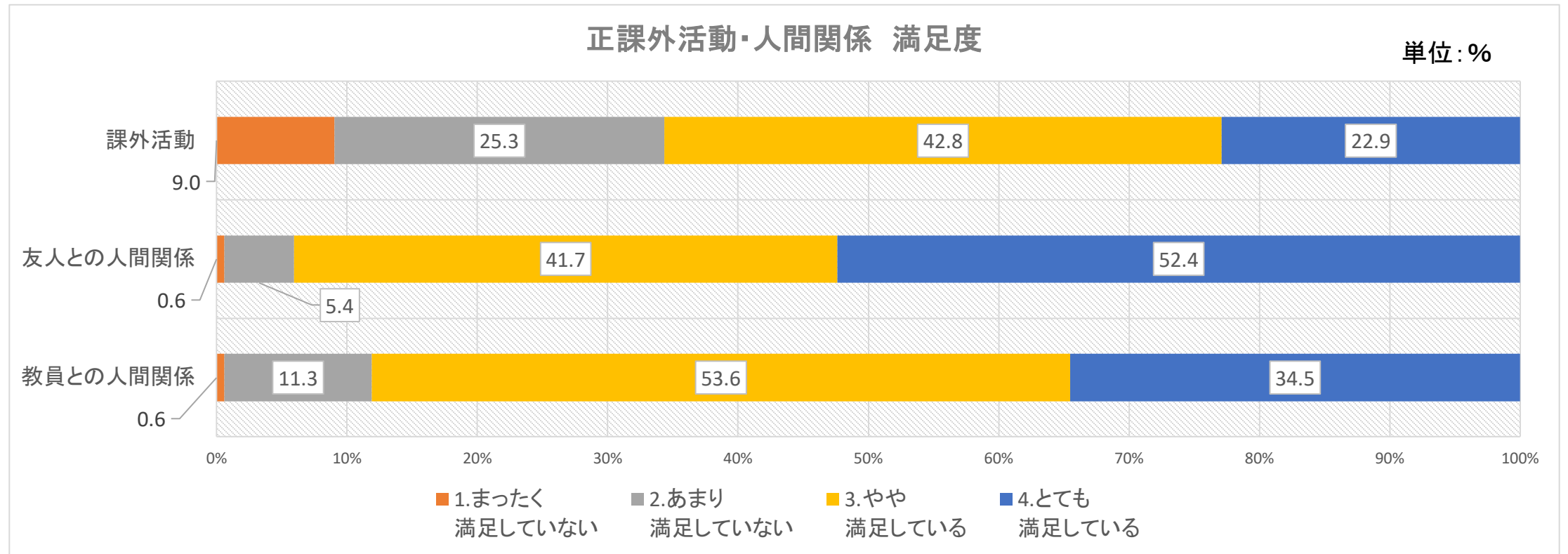
Q. あなたは在学中に、興味を抱くような楽しい科目がどの程度ありましたか【科目の興味関心】



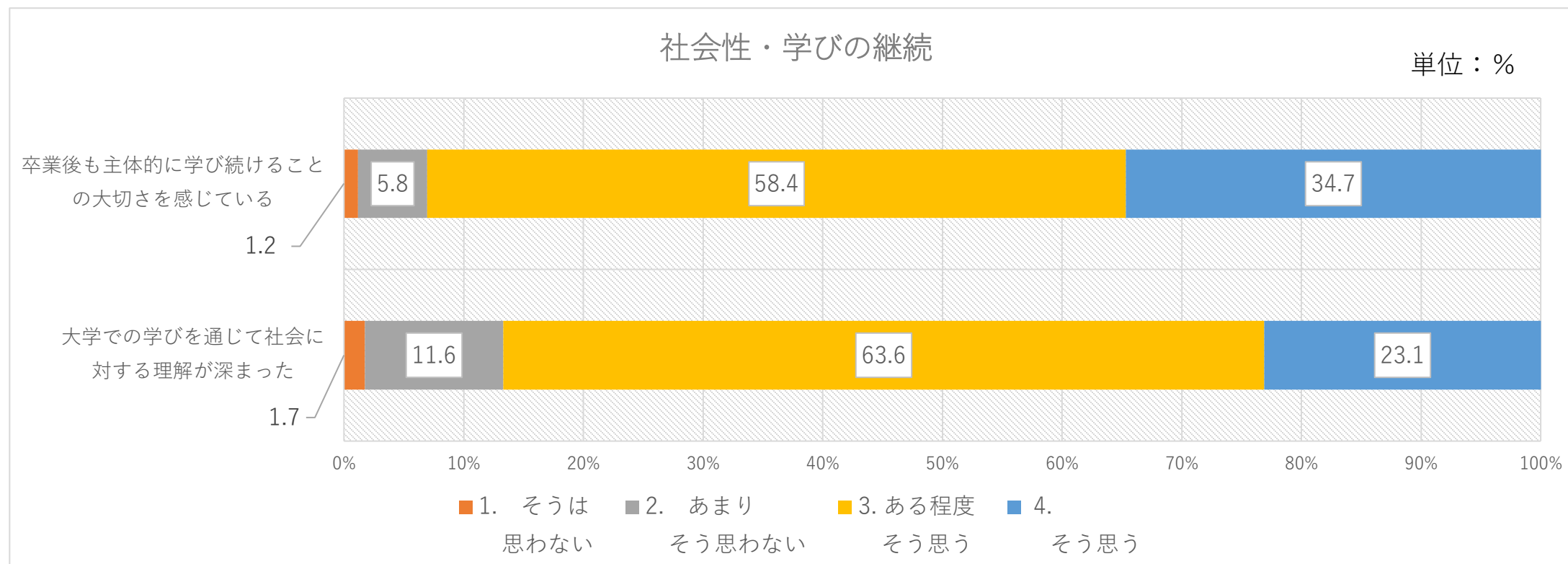
Q. あなたは大学での教育内容や学生生活にどの程度満足していますか【満足度】



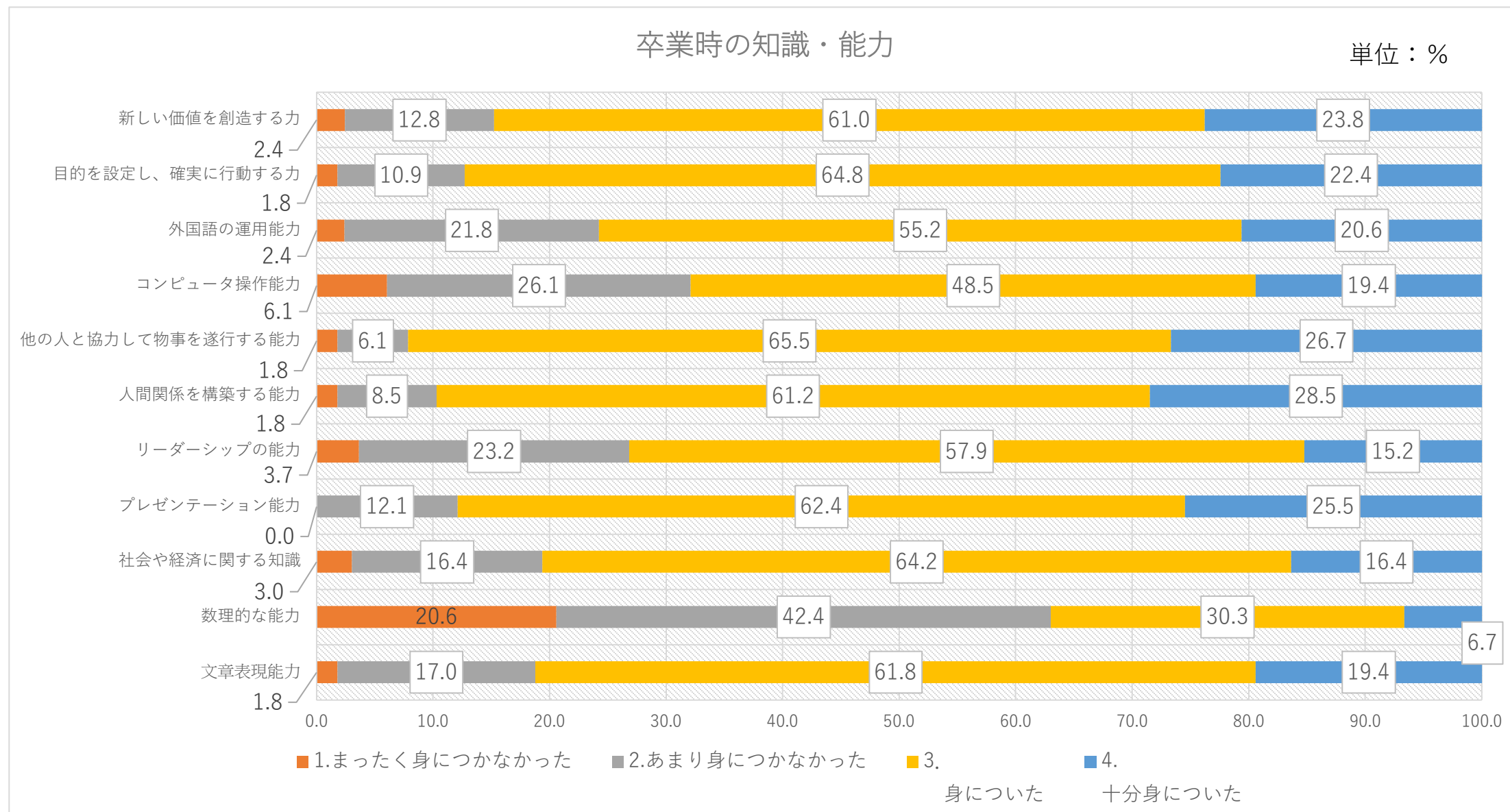
Q. あなたは大学での教育内容や学生生活にどの程度満足していますか【満足度】



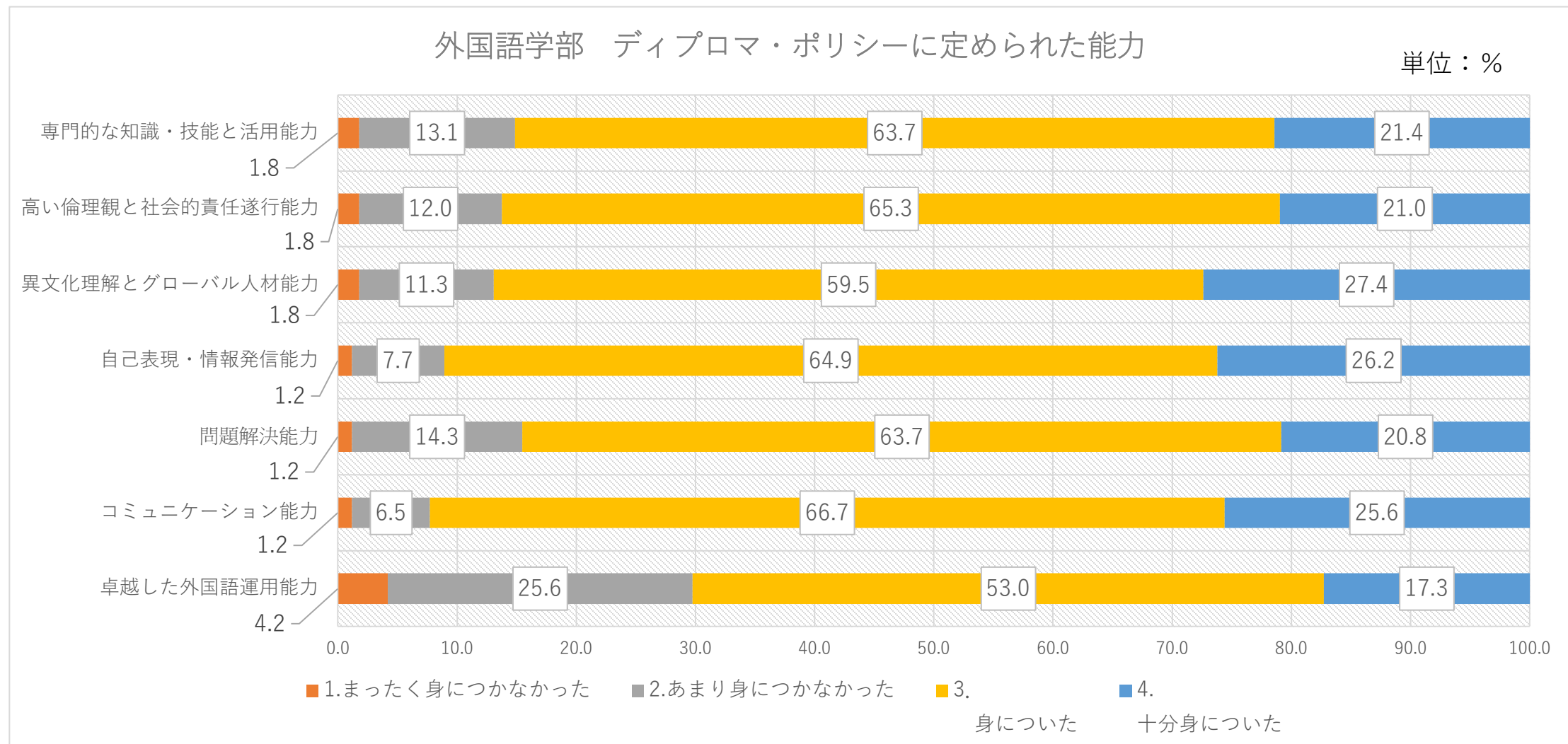
Q. これまでの大学での学びを振り返って、次の項目についてどのように思いますか。【社会性・学びの意欲】



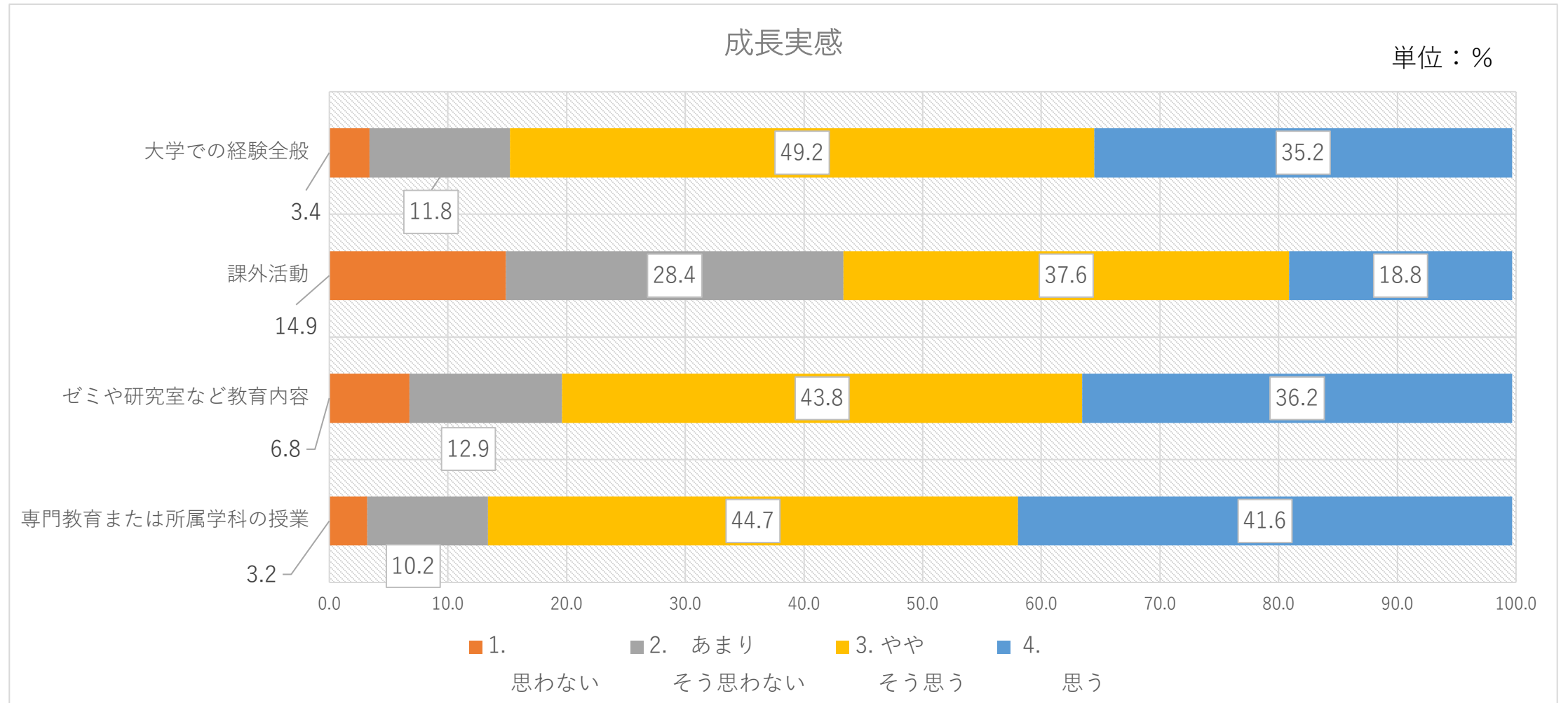
Q. あなたは在学中、次のような知識・能力をどの程度身に付けたと思いますか【学習成果】



Q. 外国語学部 ディプロマ・ポリシーに定められた能力【学習成果】



Q. あなたは、入学から卒業までの大学での経験を通して、人間的に成長を実感していますか【成長実感】



総評：外国語学部

大半の卒業生が積極的に学び、大学生活に満足して卒業したことが窺えるアンケート結果だった。新型コロナウイルス感染症の影響を2～3年次に大きく受けた卒業生であったが、授業中に学生同士が議論したり、自分の考えや研究を発表する機会を得られたと感じた割合が前年度よりも高かった。また、教育内容や学生生活に対する満足度も、前年度に比べ更に改善した。制限の多い期間を経験しながらも、「アフターコロナ」に向けて多くの学生が授業内で積極的な姿勢を維持できたようだ。これまでもディプロマポリシーに定められた全項目において、7割以上の卒業生が各能力を身に付けられたと実感していたが、2022年度卒業生は7項目中6項目において、肯定的な回答の割合が大きく増加した。

一方で、今回の結果では今後の課題も示唆されたとも受けとめている。「学習態度・行動」における結果は、受動的な学生が増加傾向にあることを示していると考ええる。大半の学生が課せられたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力できたようだが、目的意識を持って授業に臨んだ学生の割合は、前年度より数パーセント低くなった。また、前述の通り授業内では学生同士議論できたが、授業外で他の学生と一緒に勉強したり、授業内容を話したりした学生の割合は低くなった。これらの結果は、与えられた枠組みがないと学びに対して積極的になれない学生が増えているということではないだろうか。それは、半数近くまたはそれ以上の学生が、各正課外活動に熱心になれなかったという結果からも窺える。これは社会全体における傾向で、コロナ禍における対応や制限も影響しているだろう。また、教員が一方的に努力することで改善されることでもない。コミュニケーションを重視する外国語学部としては、予測困難な未来に向けて自ら課題を設定し、他者と協働しながら積極的に行動できる社会人に成長できる環境を、学生と共に検討し整えていきたい。